

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要				
事業開始年度 昭和58年度				
総合計画	大項目	02	健康でやさしさあふれるまちづくり	根拠法令・例規等 健康増進法
	基本目標	02	健康でやさしさあふれるまちづくり	
	中項目	02	健康でやさしさあふれるまちづくり	
	小項目	02	成人保健(歯科保健を含む)	
事務事業名 02 健康増進事業			このシート作成に要した時間 5.5 時間	

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	主に40歳以上64歳以下の市民
目的(何のために)	生活習慣病予防や健康づくりに関する事項について、健診等の結果をもとに、正しい知識の普及啓発や適切な指導、支援を行うことにより、市民の健康保持増進、医療費抑制、健康寿命の延伸を図る
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	市の健康課題である肥満について重点的に取り組み、適正体重を維持する市民の増加を目指す

事業の実績			
細事業名	事業の説明	優先度	
健康教育事業	健康づくりの正しい知識や生活習慣改善に取り組む実践方法を学ぶ教室を実施	◎	
健康相談事業	生活習慣病予防や健康づくりに関する講話や相談を地区単位で実施	○	
健康診査事業(肝炎ウイルス検診)	40歳の人、41歳以上でこれまでに検診を受けそびれた人等を対象に市内指定医療機関で実施	△	
健康診査事業(骨粗鬆症検診)	40・45・50・55・60・65・70才の女性に集団検診で実施	△	
健康診査事業(健康診査)	生活保護受給者を対象に生活習慣病を早期発見するための健診を実施	△	

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
事業費	直接事業費	千円	2,761	4,157	4,160
	必要人員人件費	千円	1.69人	9,658	1.04人
決算額	事業費	千円	12,419	11,098	13,506
	国県支	千円	896	1,096	1,247
	受	千円	107	58	81
	益	千円			
財源	市	千円			
その他()					
一般財源			11,416	9,944	12,178
受					
益	%		0.9%	0.5%	0.6%
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
健康教育・健康相談参加人数		説明	健康増進事業補助金実績		
結果	指標	事業	3,718	2,867	3,053
対	前	年	-	77.1%	106.5%
活	動	コ	12,419,000	11,098,000	13,506,000
単	位	当	3,340	3,871	4,424

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
BMI 25以上の人の割合(40~64歳)	目標値(A)	20	20	20	25.5
	実績値(B)	26.4	26.3	27.3	到達目標値
	達成率(A/B)	75.80%	76.00%	73.30%	20%
	成果指標設定の考え方・式や説明				
中年期において男女とも県より肥満率が高く大きな健康課題となっている。(特定健診においては県平均が示されていないため比較不可能) 【実績値】H19基本健診結果 H20・H21特定健診結果 【H22目標値】H21実績値-1 (H21実績値-到達目標値)/4年 【到達目標値】健康びぜん21目標値(目標年度H25) ※肥満率の減少が指標となっているため、達成率をA/Bに変更している					

事務事業の評価			
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A~E> A
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A~E> C
有効性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 <A~E> C	

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	肥満・高血圧予防、改善がテーマの健康教室を実施する。広報等を通じて積極的にPRするとともに、H22特定健診の情報提供該当者のうち60~64歳にターゲットを絞って案内を送付し、参加者を募る。 40・50代への介入方法について係内で協議する。 引き続き、愛育・栄養委員会等で研修を行い健康づくりリーダーの育成を行うとともに、地区の特性に合わせた実践活動ができるように働きかける。					

総合評価	
成果指標達成率は低下したが、愛育・栄養委員活動や保健事業の機会を通じて、市の健康課題について問題提起し、市民自らが健康づくりに関して考える場を提供したため、市民参画度は向上した。また、肥満、高血圧予防が目的の健康教室や健康相談を実施し、働き盛りの年代を中心に参加を呼びかけたが、40~50代や男性の参加が少なかった。 H21特定健診の結果、特に40~64歳男性の肥満率が高く、血糖検査においては40代と比較して50代の有所見率が増加している。肥満率の減少を図るにはこの年代への働きかけが重要である。	評価区分 <A~E> C

平成23年度の方向性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	40~64歳の特定健診情報提供該当者のうち、BMI25以上で保健指導を受ける意欲のある人(システムで抽出)にターゲットをしぼった活動を展開する。 特定健診の結果、特定保健指導に参加できない(参加意思のない)ハイリスク者への関わりを強化し、重症化を防ぐ。					

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

留意事項
事業の目的、効果、効率性、有効性の評価指標である成果指標について、下向き矢印は評価が低いことを示しています。